

地球温暖化と わたしたちの 将来

台風の上陸による農作物への被害や、北海道内の平均気温が過去100年間で約1.6°C上昇する(札幌管区気象台による)など、地球温暖化によると考えられる影響が北海道でも起きています。本イベントでは、地球温暖化に関する基本事項や脱炭素社会構築への道筋、豪雨や猛暑と地球温暖化の関係など、3人の講師が最前線の環境研究の成果を踏まえた情報提供を行い、参加の皆様との対話によりさらに理解を深めたいと思います。



トランスフォーメーション

「脱炭素化」に不可欠な社会の「大転換」

地球温暖化の影響はすでに顕在化し、海面上昇や極端な気象などにより深刻な被害の危険があります。今後は温室効果ガス排出削減策(緩和策)と同時に影響に対する適応策も進めなければなりません。パリ協定の目標達成には、これまでにない価値観の変化を含めた「社会の大転換」が必要です。

江守正多 国立環境研究所 地球環境研究センター 室長



異常気象と温暖化

近年、これまで観測されたことのない熱波や豪雨などが発生し、人々の生活に影響を与えています。これは温暖化のせいなのでしょうか?本講義では、過去の気候変動の要因分析と将来予測に関する解説を行います。

塩竈秀夫 国立環境研究所 地球環境研究センター 主任研究員



温室効果ガス排出のない社会へ変えるのはあなた

半世紀かかって科学者たちは、気候変動を抑制するには温室効果ガスの排出を止めるしかないことを結論しました。これを受けてあと50年のうちに世界は化石燃料を使わない「炭素中立社会」に変えると約束し、行動を開始しました。「炭素中立社会」は実現するのでしょうか? それはあなた次第です。

西岡秀三 地球環境戦略研究機関 参与(元国立環境研究所理事)

<日時> 2018年3月10日(土) 13:15-16:00(開場 12:30)

<会場> とかちプラザ 4F 講習室402号室
帯広市西4条南13丁目1番地 (JR帯広駅より徒歩3分)

<参加無料> 先着70名、事前申込が必要です。

北海道十勝総合振興局 保健環境部 環境生活課 地域環境係までお名前、ご所属、連絡先電話番号を明記し、メール(tokachi.kankyo10@pref.hokkaido.lg.jp)か、電話(0155-26-9027)にてお申し込みください。

<主催> 国立環境研究所、北海道十勝総合振興局、北海道環境財団



地球温暖化とわたしたちの将来

2018 **3/10**  13:15~16:00
(開場 12:30)

とかちプラザ 4F 講習室402号室
参加無料・**要事前申込**(先着70名)

温暖化のせい?

記録的な熱波や豪雨は

近年発生している

実現は、あなた次第。

「炭素中立社会」の

化石燃料を使わない

必要。

社会の「大転換」が

トランスフォーメーション

「脱炭素化」の達成には

塩竈秀夫

国立環境研究所
地球環境研究センター
主任研究員

西岡秀三

地球環境戦略研究機関 参与
(元国立環境研究所理事)

江守正多

国立環境研究所
地球環境研究センター
室長

<会場>

とかちプラザ 帯広市西4条南13丁目1番地 (JR帯広駅より徒歩3分)

<申込先>

北海道十勝総合振興局 保健環境部 環境生活課 地域環境係まで、お名前、ご所属、連絡先電話番号を明記し、メール(tokachi.kankyo10@pref.hokkaido.lg.jp)か、電話(0155-26-9027)にてお申し込みください。

<主催>

国立環境研究所
北海道十勝総合振興局
北海道環境財団



北海道

